

日 本 史

I 次の文章を読んで、空欄(1～10)に該当する語句を下の語群から1つずつ選びなさい。

10世紀の初めの醍醐天皇の時代には、律令体制のいきづまりが明らかになってきた。902年には(1)の荘園整理令が出され、勅旨田や天皇と近い皇族や特定の貴族である(2)の違法な土地所有を禁じた。また、914年に三善清行が醍醐天皇に提出した意見封事十二箇条には、中央政治の改革、経費節減・地方政治改革などを訴えており、当時、班田収授を実施して租や調・庸を取りたてて諸国や国家の財政を維持することは困難となっていた。

政府はこれに対して9世紀末から10世紀の前半にかけて国司の交替制度を整備した。任国に赴く国司の最上席者に大きな権限と責任をおわせるもので、新任の国司は前任の国司から交替に際して一国の財産などを引き継ぐことから受領とよばれるようになった。また受領以外の国司は、実務から排除されるようになり、任国に赴任せず国司としての収入のみを受け取るようになり(3)国司とよばれた。やがて、11世紀後半になると受領も交替の時以外は任国に赴かなくなり、国司不在の諸国では国衙に(4)が設置され、現地に派遣された目代が、国内の有力者で世襲的に任ぜられる(5)たちを指揮して運営されるようになった。

摂関政治が確立する時期、荘園が増加し公領を圧迫するようになっていた。当時の関白は宇治にある自身の別荘に平等院鳳凰堂を建立したことで知られる(6)で、(6)が1067年に関白の地位を去り、翌年に後冷泉天皇が没すると、摂関家を外戚としない後三条天皇が即位した。後三条天皇は1069年に(7)の荘園整理令をだし、(8)を設置して摂関家も例外なく基準にあわない荘園を整理した。この荘園整理令により荘園と公領の区別が明確となった。

その後継の白河天皇は父後三条天皇にならって新しい政治を行い、1086年に堀河天皇に譲位すると、天皇を後見しながら政治の実権をにぎる院政をはじめた。白河上皇の周辺には富裕な受領や后妃・乳母の一族など院近臣とよばれる一団が形成

F 日本史

された。このころ、上級貴族には一国の支配権を与えてその国からの収益を取得させる(9)の制度が導入された。やがて、1159年の(10)の後、武力で後白河上皇を支えた平清盛は太政大臣にまで昇進する。平氏の全盛期の大きな基盤は日本全国の約半分におよぶ(9)と多くの荘園にあった。

〔語 群〕

ア 藤原道長	イ 延 喜	ウ 鹿ヶ谷の陰謀
エ 院宮王臣家	オ 平治の乱	カ 藤原頼通
キ 保元の乱	ク 延 久	ケ 院評定衆
コ 寛 徳	サ 記録所	シ 知行国
ス 重 任	セ 本 家	ソ 郎 党
タ 遙 任	チ 政 所	ツ 留守所
テ 在庁官人	ト 郡 衙	

II 次の文章A～Cを読んで、下記の設問に記号をマークして答えなさい。

A 1467年、戦国時代の幕開けとなる応仁の乱が発生した。当時、管領家の畠山氏では義就と政長との間で、また斯波氏でも家督争いが発生していた。一方、将軍家では、義政が弟の(1)を後継としているなかで、1465年に義政と正妻日野富子との間に義尚が誕生すると、その後継をめぐる争いがおこった。

1466年、畠山義就が軍勢を率いて上洛すると、義政は(2)が支援する義就を赦免し、翌67年1月、管領政長を解任して後任に斯波義廉が就いた。これにより、政長側にたっていた(3)との対立が明確になった。そして、政長の陣所を義就が攻撃して合戦が開始された。山名・細川の陣所の位置から細川方は東軍、山名方は西軍とよばれ、東軍には畠山政長・斯波義敏に赤松・京極・武田氏など、西軍には畠山義就・斯波義廉に大内・一色・六角・土岐氏などに分裂した。一方、(1)は当初は京都にいたが、伊勢に出奔し、翌1468年に帰京した。同年11月には西軍に加わり東西2つの幕府が成立した。

B 応仁の乱は1477年に和議が結ばれて終戦を迎えた。しかし、争乱はその後も地域的争いとしてつづいた。一方、応仁の乱の渦中で、斯波氏の越前国守護代朝^②

倉孝景は一国の支配権を奪うなど、各国で戦国大名が台頭してきた。

関東では、1454年に鎌倉公方足利成氏が関東管領上杉憲忠を謀殺した事件を発端に(4)が発生した。将軍義政が成氏の追討命令を發し駿河の今川氏が鎌倉に攻め入ると、成氏は翌1455年に鎌倉から下総国(5)に拠点を移し上杉氏らと戦った。これに対し、義政は1457年に兄の政知を関東に派遣したが、政知は伊豆(6)に留まることとなり、その結果、鎌倉公方は二つに分裂し、また関東管領も山内・扇谷の両上杉氏に分裂して争った。成氏は1478年に上杉氏と和睦し、1482年に幕府と和解して30年近くを経て和睦が実現した。

一方、(6)公方足利政知は1491年に没し、茶々丸がその地位を継承した。このころ京都から下ってきた(7)は1493年に足利茶々丸を追って伊豆を奪った。その後、茶々丸は1498年に自害し(6)公方は滅亡した。(7)はさらに相模国に進出して小田原を本拠とし急速に勢力を拡大していった。

- C 畿内方面では、1493年に管領細川氏が将軍義植を廃して義澄を擁立した(8)が発生した。この事件を機に、細川氏の家督が管領となって幕府を運営する体制が長くつづいた。^③しかし16世紀中期になると、細川晴元の家臣だった(9)が晴元を京都から追放して実権をにぎり、さらにその地位は(9)の家臣だった(10)に移った。

設問 1 空欄(1～10)に該当する語句を下の語群から1つずつ選びなさい。

〔語 群〕

ア 義輝	イ 義視	ウ 伊勢宗瑞	エ 永享の乱
オ 富樫政親	カ 嘉吉の変	キ 享徳の乱	ク 古河
ケ 山名持豊	コ 陶晴賢	サ 長尾景虎	シ 北条氏康
ス 細川勝元	セ 細川政元	ソ 堀越	タ 松永久秀
チ 三好長慶	ツ 明応の政変	テ 結城合戦	

初、事件の真相公表と首謀者の嚴重処分を天皇に上奏したが、閣僚や陸軍の反対により首謀者の(3)大佐を停職にただけであった。この方針転換は天皇の不興をかき、1929年に内閣は総辞職した。一方、張作霖の後継者の張学良は、1928年に満州を国民政府下の土地と認め、国民党の北伐は完了し、中国全土の統一がほぼ達成された。

後継の立憲民政党の(4)内閣は(5)を外務大臣に起用し、協調外交を復活させた。1930年には日中関税協定を結び、条件付きながら中国に関税自主権を認めた。また、同年には(6)に調印した。軍縮会議では日本が要求した補助艦(巡洋艦・駆逐艦・潜水艦)の総トン数の対英米両国の約7割とする要求は認められたものの、大型巡洋艦の対米7割は認められなかった。この結果に、野党の立憲政友会や海軍軍令部・右翼などは、海軍軍令部長の反対を押し切って政府が兵力量を決定したのは統帥権の干犯だと批判し、同年11月には(4)首相が右翼青年に狙撃されて重傷を負い、翌31年に退陣する事態となった。

関東軍は、中国での国権回復運動が満州におよぶのを武力で阻止し、満州を長城以南の中国の主権から切り離して日本の勢力下におこうと計画した。1931年には奉天郊外の(7)で南満州鉄道^③の線路を爆破し、これを中国軍のしわざであるとして軍事行動を開始した。時の立憲民政党の(8)内閣は、事態收拾に自信を失って総辞職し、かわって立憲政友会の(9)が組閣した。内閣は、中国との直接交渉をめざしたが、関東軍は満州の主要地域を占領していき、1932年には清朝最後の皇帝であった溥儀を執政として満州国の建国を宣言させた^④。(9)首相はこの年の五・一五事件で射殺され、後継には海軍大将の(10)がつき、日満議定書をかかわして満州国を承認した。

F 日本史

設問 1 空欄(1～10)に該当する語句を下の語群から1つずつ選びなさい。

〔語 群〕

- | | |
|----------------|-----------------|
| ア 犬養毅 | イ 桂太郎 |
| ウ 加藤高明 | エ 斎藤実 |
| オ 岡田啓介 | カ 河本大作 |
| キ 山東出兵 | ク 幣原喜重郎 |
| ケ シベリア出兵 | コ 田中義一 |
| サ 寺内正毅 | シ 橋本欣五郎 |
| ス 浜口雄幸 | セ 原 敬 |
| ソ 陸奥宗光 | タ 盧溝橋 |
| チ ロンドン海軍軍備制限条約 | ツ 柳条湖 |
| テ 若槻礼次郎 | ト ワシントン海軍軍備制限条約 |

設問 2 下線部①について、内閣が中国関係の外交官と軍代表をあつめて「対支政策綱領」に「満蒙は中国領土にあらず」と決定した。その組織名称はどれか。

- | | |
|-------------|---------|
| ア 大本営政府連絡会議 | イ 東方会議 |
| ウ 大東亜会議 | エ 極東委員会 |

設問 3 下線部②の事件は、日本では何とよばれたか。

- | | |
|-----------|--------|
| ア 済南事件 | イ 三月事件 |
| ウ 満州某重大事件 | エ 西安事件 |

設問 4 下線部③について、南満州鉄道の駅ではないものはどれか。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ア 京 城 | イ 長 春 | ウ 奉 天 | エ 大 連 |
|-------|-------|-------|-------|

設問 5 下線部④の事態に、アメリカは不承認宣言を発し、中国からの訴えと日本の提案で、国際連盟理事会は事実調査のためイギリスのこの人物を団長とする調査団を派遣した。それはだれか。

- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| ア シャウブ | イ ダレス | ウ ドッジ | エ リットン |
|--------|-------|-------|--------|

設問 6 国際連盟は1933年に満州国を傀儡国家と認定し、日本が満州国の承認を撤回することを求める勧告案を採択した。この時の日本全権団は勧告案を可決した総会から退場し、3月には国際連盟からの脱退を通告した。このときの全権はだれか。

ア 松岡洋右 イ 野村吉三郎 ウ 重光葵 エ 東郷茂徳

IV 次の文章を読んで、空欄(1～10)に該当する語句を記入しなさい。

18世紀末になると、1792年にロシア使節(1)が根室に入港して、漂流民を届けるとともに日本に通商を求めた。このころ、長崎などで海外事情を学んでいた(2)は、1791年に『海国兵談』を出版してロシアの南下を警告し海岸防備の重要性を主張していた。これに対して、松平定信は、これを幕政批判ととらえて同書の版木を没収した。一方、国内では江戸・大坂などの主要都市で打ちこわしが頻発するなど、内外ともに危機がせまっていた。

このように幕藩体制の動揺が現実化するなか、都市や村々の実情に接する人びとのなかから、封建制度の維持や改良を説く経世家があらわれてきた。(3)は、1798年ころにまとめた『西域物語』『経世秘策』において、西洋諸国との交易や蝦夷地の開発などによる富国策を提言した。また、(4)が1813年に完成させた『稽古談』には、商売をいやしいものとする武士の偏見を批判して、藩財政の再建は商品経済の発展をもたらす殖産興業によるべきであると主張していた。一方、水戸藩では藤田幽谷・東湖父子があらわれ、幽谷に学んだ(5)は1825年に『新論』を著述し尊王攘夷論を説き、その後の思想や運動に大きな影響を与えた。

この時期、各地に学者たちにより私塾がつくられていった。長崎には1823年に来日したオランダ商館の医師シーボルトが翌年に(6)を創設した。また、大坂では蘭学者の(7)が1838年に適々斎塾を開いた。これらの私塾では海外事情に詳しい人物が育ち、前者からは高野長英ら、後者からは福沢諭吉らを輩出した。1837年にアメリカ商船が浦賀沖に接近し、日本人漂流民7人を送還して日本に通交を求めようとして撃退された(8)事件がおこると、高野長英は1838年に『戊戌夢物語』を書いて幕府の対外政策を批判した。また高野長英らと交流していた

F 日本史

(9)も未定稿ながら『慎機論』を書いてこれを批判していた。これに対し、幕府は江戸湾岸防備の調査を行うとともに、二人と関わる者たちを調査し逮捕していた。その中で(9)の自宅の捜査に及び、その際に『慎機論』などを発見した。その結果、幕府は1839年に両人を蟄居・永牢とした。この事件は(10)と呼ばれている。